

広島競輪場に 400 mバンク完成

NIPPO

NIPPOが施工を手掛けた「広島競輪場再整備計画走路改修工事」(広島市南区)が完成した。写真。バンクのホーム幅員は10・5mで、最大傾斜角度は32・5度。新設した競走路は4976平方m。同社は舗装路盤に再生クラッシュシャーランと石灰安定処理材を使い、特別配合の特殊密粒度アスファルト混合物などを3層で敷きならし、自転車競技場専用の塗料を塗布して仕上げた。

走路の改修に当たり、同社はこれまで蓄積してきた自転車競技施設の舗装技術を生かした。舗装材料や施工方法に独自の技術的知識と技能を導入。ハイレベルな選手が違和感なく競技に専念できるよう、平坦性を可能な限り高め、専用塗料で適切なグリップが得られるようにした。



広島市が同競輪場の再整備と包括運営事業者を公募し、車券販売や競輪場・場外車券場の运营管理などを手掛けるチャリ・ロト(東京都渋谷区、石原洋輔代表取締役)を選定。走路改修の工期は2022年11月1日～25年10月末だった。11月28日にはバンク(走路)と選手宿舍兼ホテル棟の竣工式が開かれ、1周400mのバンクを競輪選手が疾走。同30日にレースが始まった。

広島競輪場再整備 バンク更新が完了

NIPPO

NIPPOが広島競輪場再整備の一環として施工したバンク更新が完成し、11月28日に竣工を迎えた。写真。竣工式典後には、レース再開を前に競輪選手が新設された走路をデモ走行した。

工事名は「広島競輪場再整備計画走路改修工事」。2022年1月から工事着手し、



25年10月31日に完了した。バンク舗装は周長400m、ホーム幅員10・5m、最大傾斜角は32・5度で改修面積は4976平方m。特殊密粒度アスファルト混合物などを使い3層で敷きならした。路面の塗装は、自転車競技場専用塗料を塗布し、カラーは既存のグリーンから、競輪場がある宇品地区の海をイメージしたブルーに変更された。

NIPPOでは、競輪場などの特殊なバンク舗装を、長年積み重ねてきた実績を生かした技術力で高品質の舗装に仕上げた。試走した選手からは、走りやすくなったと高い評価を得ている。